

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2025 年 1 月 31 日（第 1.1 版）

承認番号	24075
課題名	家族性大腸腺腫症（FAP）の調査研究
研究期間	西暦 2024 年 7 月 25 日（実施許可日） ～ 2027 年 3 月 31 日
研究の対象	2020 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の間に旭川医科大学病院で家族性大腸腺腫症（FAP）として診断治療を行った方
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：病歴，既往歴，合併症及びその治療・服薬状況，生活習慣，家系情報等） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
利用予定日	開始日 2026 年 8 月ごろ
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	家族性大腸腺腫症（FAP）は遺伝性の大腸ポリープ症で、大腸に多数の腺腫（ポリープ）が形成される特徴があります。これらの腺腫は通常、青年期に現れ、未治療の場合は悪性化するリスクが高く、外科手術が標準治療とされています。FAP 患者の情報収集は、疾患の理解を深めるとともに、早期診断と治療法の改善に寄与します。
研究の方法	対象患者さんの病歴（発症年齢，症状，検査所見，治療内容），既往歴，合併症及びその治療・服薬状況，生活習慣（飲酒，喫煙，食事，運動），家系情報等を記録します。
その他	本研究は、大塚製薬株式会社より奨学寄付金を受けて行われますが、本研究の利害関係については旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

	照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者 田邊裕貴 所属 腫瘍センター 電話 0166-69-3232 FAX 0166-69-3239 住所 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1 旭川医科大学病院
--	---